



月刊バイブル（世界のベストセラー、聖書のトリビア）

第26号

発行：レムナントキリスト教会

価格：100円（送料込みで200円）

〔目次〕

- ◎聖書からのメッセージ：「ふさわしい助け手」エレミヤ
- ◎高ぶりを打ち砕く：進化論の誤り22「進化論は仮想現実」
- ◎聖書と日本の風習「人はパンのみで生きるものに非ず」
- ◎詩篇を読む：「苦しみと幸せ」
- ◎聖書に関する偉人のことば：内村鑑三
- ◎ご案内：聖書贈呈

<聖書からのメッセージ>

「ふさわしい助け手」by エレミヤ

本日は神が私たちの人生に対してふさわしい「助け手」を与えてくださった、ということを見ていきたいとおもいます。

人類の最初の人間の名前は聖書に記されており、その名前は有名です。それはアダムという名前の男性です。さて、神はそのアダムを創造された後、こういわれました。

創世記2:18 その後、神である主は仰せられた。「人が、ひとりであるのは良くない。わたしは彼のために、彼にふさわしい**助け手**を造ろう。」

このように神はいわれ、そのあとアダムを助ける存在として彼の妻エバを創造したので、神がその創られた男性を配慮してくださ

り、顧みてくださり、その助け手として女性である妻を創造してくださったことはまことに神の配慮であり、実際このことは男性にとり大いに助けとなりました。

さて、この助け手ということばは、また神が与えてくださったキリストや、キリストの霊である聖霊をさして語ることばでもあります。以下を見てください。

ヨハネ14:16 わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの**助け主（助け手）**をあなたがたにお与えになります。その**助け主（助け手）**がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。

この箇所にはアダムの時と同じく助け手ということばが使われています。それで、神がキリストを私たちにお与えになったこと、またキリストの霊である聖霊をお与えになった

「ふさわしい助け手」エレミヤ

この意味合いがわかります。キリストがこの世に来られた目的、また神がキリストを与えた目的、それはこういうことです。

神がキリストをこの世の我らに与え、その霊である聖霊をお与えになった目的は、我々の歩みを助け、また我々の人生におけるあらゆる苦難、問題の中で助けを与えるためなのです。

<人がひとりでいるのは良くない>

上記創世記のテキストの中で、神は「人が一人でいるのは良くない」と語られました。このことはそのとおりであり、私たちがたった一人きりで自分だけで、人生を生きていくのはあまり良い選択ではありません。そもそも私たちはアダム以来一人で生きていくようには造られていないのです。これは、男性にあってもそうですし、女性にあっても同じなのです。

よく考えて見ましょう。一人では重くて動かさないテーブルでももう一人助け手がいて、2人になれば、運べるようになります。思い立ってお店を始めてもたった一人でそれを運営するのは、難しいかもしれません。でも助け手が与えられれば、仕事も半減するし、弱ったとき助けてもらえます。

<彼にふさわしい助け手を作ろう>

それで、神はこのように語り、そして実際今までたった一人の人間だった男性アダムにふさわしい助け手である妻エバを造ってくださったのです。アダムが一人で生きていくのは困難であることを見越し、神は始めから、彼にふさわしい助け手エバを与えてくださったのです。彼女によりアダムは大いに助けられるようになったのです。

妻をもらおうと独身男性は大いに助けを受ける、このことは真実です。個人的なことをいうなら、私も奥さん进行をもらおうようになって大

いに助けを実感するようになりました。独身の頃の私はあまり自慢にはなりませんが、部屋を片付けてもちっともきれいにならず、服も毎日洗濯とはいかず、正直あまり清潔とはいえない生活をしていました。男の一人住まいなので、不精でために部屋の掃除もしていなかったのです。そのような私でしたが、結婚して清潔好きな奥様と暮らすようになり私の生活も一変しました。毎日きれいに洗濯されたワイシャツを着て会社にいけるようになり、部屋も一変して掃除の行き届いた部屋に暮らせるようになりました。

食事に関しても以前はインスタントラーメンばかり食べていたのですが、今度は、毎食、栄養ある手作りの食事をつくってもらえるようになったのです。本当に自分の独身時代と結婚後と比べると「人が一人でいるのは良くない」「彼にふさわしい助け手を造ろう」とのことばが実感してよくわかるのです。

さて、神がキリストをそしてキリストの霊である聖霊を助け手と呼ぶとき、このような意味あいで語っているのです。掃除や洗濯そして料理は自分ひとりでもできるかもしれませんが、しかし、それでも私たちには助け手が必要です。そうではありませんか？

私たちが歩みだしたこの人生は難問や問題、そしてトラブルだらけであり、実は誰一人「ふさわしい助け手」なしでは歩んで行けない物なのです。一人で雄雄しく生きようなんて思っても、簡単には解決しない人間関係のトラブルがあり、また仕事場、学校、家庭でも解決しないトラブルに見舞われるものなのです。また、よしんば人生に何のトラブルがなくても私たちの心は時々埋めようもない空しさ、虚無感、絶望感を感じるものなのです。また死後の世界への不安もあります。この様に多くのトラブルや難問に満ちた人生を私たちはたった一人でどのようにして歩んでいったらよいのでしょうか？また自分ひとりで解決不可能な問題に巻き込まれるとき、一体誰が私たちを助けてくれるのでしょうか？そうです、私たちには確かに「ふさわしい助け手」が必要なのです。

「ふさわしい助け手」 エレミヤ

そして、キリストご自身はこのような私たちの人生のあらゆる問題を見越した上で、「もう一人の助け主（助け手）をお与えになります」と語っているのです。キリストが私たちの助け手として来られた、このようなことばを聞いても「いくらまいことをいってもしよせん本に書かれた名言に過ぎないのではないか、実際の助けにならないのではないか」との意見もあるかもしれません。

確かに私たちがそう言い切ってしまう、助けを求めないなら、何の助けにもならないかもしれません。しかし、この聖書のことばを信じ、キリストを自分の助け主として信じ、助けを求める人はその助けを実際に受けます。

私自身がそうでした。私は60歳近くまで某コンピューター会社の中で下請けの人間として働いていました。誰でもそうでしょうが、私も仕事を進める中で、時々、大きなトラブルや問題に巻き込まれるときがありました。その時どうするか？そのつど、クリスチャンである私は助け手であるキリストに助けを求め密かに祈ったものです。そしてその度にキリストにより助けを受けてきました。ある時は仕事の上で、外国の認定証がどうしても来週初めまでに必要、ということがありました。どうも日程的にきつそうなのですが、その時も私は助け主であるキリストに助けを求めて祈りました。新しい週が始まり、パソコンを開いた私はメールでその待ち望んでいた認定証が届いていたことに気がつきました。確かにキリストは私にとって、ふさわしい助け手であり、このときも困難から救って下さった、と感じたのです。私たちの問題は個々により異なりますが、神はそれぞれの困難にふさわしい助け手を送ってくださったことを信じましょう。

福音書を読み、わかることはキリストはあらゆるとき、色々なケースのトラブルに巻き込まれた人を助けておられる、ということです。生まれつきの盲人はキリストにより目が見え

るようになりました。また、足なえ、すなわち、足が弱って歩けない人はキリストにより、癒され、自分の足で歩くことができるようになりました。らい病で悩み、人から隔絶された生活をしていた人はその病をきれいにいやしてもらいました。また、長血（婦人病）をわずらっていた女は、信じてキリストの衣にさわっただけで、いやされました。彼女がいやされたいきさつに関してはこう書かれています。

マルコ 5:25 ところで、十二年の間長血をわずらっている女がいた。

5:26 この女は多くの医者からひどいめに会わされて、自分の持ち物をみな使い果たしてしまっただが、何のこいもなく、かえって悪くなる一方であった。

5:27 彼女は、イエスのことを耳にして、群衆の中に紛れ込み、うしろから、イエスの着物にさわった。

5:28 「お着物にさわることでもできれば、きっと直る。」と考えていたからである。

5:29 すると、すぐに、血の源がかれて、ひどい痛みが直ったことを、からだに感じた。

このように信じてキリストに触れた女はいやされました。私達も信じてキリストに助けを求めるなら、同じく助けられ、いやされる、このことを知しましょう。 以上



アダムの助け手エバ

進化論の誤り22: 進化論は仮想現実

--
神は聖書の中で、明白に神が人を創造されたことを語ります。しかし、19世紀にダーウィンによって提唱された進化論は人は猿から進化したものであり、偶然に作られたものであることを語ります。そのように語る進化論は果たして正しいのでしょうか？そのことをこの連載では見ています。

本日は進化論とは真実でも真理でもなく、科学的な事実でもなく、しかし人の心に植えつけられた仮想現実なのである、ということを見ていきたいと思えます。仮想現実ということばがインターネットが普及したあと、よく使われるようになりました。日本語の仮想の意味合いは本物ではないがそれらしく見えるものという意味合いです。実際は本物でも、事実でもないが、あたかも事実であるかのように私たちの心に植えつけられた知識や常識のことは仮想といえます。

たとえば、子供にとりサンタクロースとは仮想現実の存在です。クリスマスの日トナカイに乗ってくるサンタクロースとは、大人にとって、絶対に現実でもないし、リアルなものでもありません。クリスマスの日実際にトナカイに乗って我が家にサンタクロースが来ると信じている大人もいないし、そのサンタクロースのために客間にざぶとんを備えて待っている奥さんもないのです。

しかし、サンタを信じる子供にとってはそうではありません。クリスマス之夜にトナカイに乗ってやってくる、そして、自分が寝ている間にプレゼントを置いていくサンタとは、もう全く心に根付いたリアルな現実なのです。しかし彼がそう思うのも無理はないのです。去年もその前の年も、ク

リスマスの日の朝、目がさめると不思議にも自分がとても欲しかったおもちゃが置いてあるからです。このおもちゃは本物なので、それを届けたサンタもやはり、実際に存在する、と心の中で確信できるのです。彼にとりサンタが存在することは自分の通っている幼稚園が存在していることや、幼稚園の先生が存在していることと同じくリアルな現実なのです。

しかし、そうではあっても私たち大人はサンタが実際に存在していないことなど知っています。子供がどのようにサンタの存在を深く信じていたとしても、それは、彼の父親や母親がうまくサンタの役を演じており、彼に実際はない現実、仮想現実、バーチャルリアリティを信じ込ませているだけであることを知っているのです。

さて長々と書きましたが、進化論もサンタと同じく、人々の心に植えつけられているバーチャルな現実、仮想現実には過ぎません。よく調べていくなら、実は何の実態も、現実味も、真実もない、架空の理論なのです。進化論のどの論についても証拠がないのですが、たとえば、よくいわれる猿が人間に進化したという論を考えて見ましょう。ダーウィンは猿が進化して人間になったという論を発表しました。

しかし、人間と猿との間にはあまりにも形状からいっても能力からいっても違いがありすぎます。そのことに関して彼は長い年月を経て猿から徐々に進化して人間になったのであり、その猿と人間との間の中間種は、考古学が発達すればいずれ発見されるとしたのです。このような彼の考え、進化論という考えや理論はよしとしましょう。

進化論の誤り22: 進化論は仮想現実(続き)

どのような荒唐無稽な理論でもそれをとねえる自由は科学者にはあるのですから。しかし、問題はその理論を証明したり、裏づける考古学的発見がその後、あったのかどうか、という問題なのです。結論からいうなら、ダーウィン以来100年以上経ちますが、そのような発見は皆無なのです。

あるべきはずの化石、すなわち猿から人間に進化する途上の人類の化石など世界のどこにも存在していません。皆無なのです。そのような証拠は存在しないのですがしかし、一旦人々の心に植えつけられた仮想現実、バーチャルリアリティ、すなわち、猿から徐々に進化する人類、という図式や思いが心に堅く信じ込まれているのです。さて、猿と人間との間の中間種といわれているものを振り返ってみましょう。

ジャワ原人：1891年、進化論を信じる若者、ユージンデュボアによって発見されたとする一連の骨をジャワ原人とする。それらは、頭蓋骨と歯と下たい骨である。それらは、それぞれ数m以上離れたところで発見されておりとても同じ人骨の一部とは思えない。発見当時からこの発見は一流の解剖学者から批判されている。

ピルトダウン人：一時は猿と人との中間の生物の化石として教科書にも載った。しかし、41年後の1953年になって、これは捏造された化石であることが判明した。顎は猿、頭骨は人骨からなっており、人工的に組み合わせられ、偽装された化石。

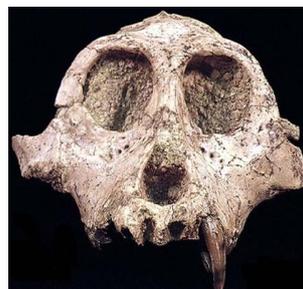
ネブラスカ人：人類の先祖との触れ込みであったがその実態は歯が一本である。しかもその歯はあとで、豚の歯であることが判明した。

ラマピテクス：人類の先祖の化石ということであったが後にオランウータンの骨であることが判明。

オルス人：人類の先祖の化石ということだったが後にそれはロバの骨であることが判明。

このように掘っても掘っても、猿と人間の中間種といわれる化石は世界のどこからも出てこないのです。何故出てこないのか？その理由は、その大前提である進化論が間違っており、そもそも猿と人間の間の中間種など世界の始めからどこにも存在していないからなのです。

人と猿との間に位置するはずの中間種は存在はしていないし、また、進化論はぜんぜん間違っている理論なのです。しかし、一旦人々の心に植えつけられた進化論の理論、すなわち猿から進化する人間という考えは仮想現実、バーチャルリアリティとして、心に焼き付けられており、人をなかなか正しい考えに戻すのは難しいのです。ですので、進化論をすっかり信じ込んでいる人はサンタの存在を信じる子供をあまり笑えない、すっかりだまされた人ということになります。



ラマピテクスといわれる骨：後にオランウータンの骨であることが判明

聖書と日本の風習 「人はパンのみで生きるものに非ず」

聖書は日本人にはあまり馴染みがありませんが、実は聖書の世界と日本は深くかかわっているのです。「人はパンのみで生きるものにあらず」という言葉を聞いたことはないでしょうか？これは、人は物質的満足だけを目的として生きるものではない。という意味でよく用いられている言葉です。この言葉は聖書からの引用で、辞書には、新約聖書「マタイ伝」第4章からの引用と書かれています。マタイの福音書4章には主イエスが福音を人々に告げる前に40日間荒野で悪魔の誘惑を受けられたことが記されています。

マタイ4：1～4

- 1) さてイエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。
- 2) そして、四十日四十夜断食した後で、空腹を覚えられた。
- 3) すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが、神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」
- 4) イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る、一つ一つのことばによる。』と書いてある。」

このようにイエスは、悪魔の誘惑に対して、「人はパンだけで生きるのではない。」と答えられたのです。そしてその言葉だけではなく、その後「神の口から出る一つ一つのことばによる。」という言葉が続くのです。人間は、目の前にある物質的な物で生きるのではなく、神の言葉によって生きる、ということが本来の意味なのです。イエスは、「書いてある」といわれています。どこに書かれているのでしょうか。それは旧約聖書の申命記8章にあります。およそBC1500年ほど前、エジプトの奴隷にされたイスラエルの民を神の力により救いだし、人々を導いたモーセの言葉です。申命記8：3には「それは、人は、パンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべての物で生きる、ということをおあなたにわからせるためでもあった。」とあります。聖書の言葉をイエスは用いて悪魔に対抗されました。人間は、物質的な満足だけでは虚しさを感じます。いくら物質的に恵まれたとしても、心が虚

しく感じたり不安に感じたりしたことはないでしょうか？ほかの動物は食べ物があるだけで満足しますが、人間はそうではありません。目に見えない充足感、満足感を求めて生きているのが人間だといえます。

それは、ほかの動物とは違い、人間は、霊的な存在として神によって創造されたからです。「神の口から出る一つ一つのことばによって」生きることが人間本来の生き方なのです。人は神の言葉をいただくことによって本当の人生を生きることができるのです。人は物質的なものを多く持ったとしても、精神的な満足感を永続的に持つことはできません。一時的に得たとしてもそれはすぐに消えてしまう儚いものです。古典に平家物語というものがありますが、栄華を極めた平家が没落していく様子を語ったものです。「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす、おごれる人も久しからず・・・」

「諸行無常」と我々の先達が語っています。栄華を極めて、地位を得て満足を得たとしても、むなしく消えてしまう。このように、人生は移ろいやすく不安定です。人は何とか安心感を得ようと色々な努力をします。でも、そこには絶対的な安心感はありません。人が生きていくためには、揺るがない神様の言葉が必要なのです。わたしは天から下ってきたパンである。とイエスは言われています。目前にある物質的な食べ物ではなく、永遠に揺るがない神の言葉こそ信頼のおける食べ物なのです。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る、一つ一つのことばによる。』

神の霊により書かれた聖書が私たちにとって必需品なのです。神の御言葉こそが、私たちの生きるためのパンであるのです。



命のパン

詩篇を読む:「苦しみと幸せ」

〔詩編 119 : 71〕

苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。

私はそれであなたのおきてを学びました。

誰しも、苦しみには会いたくないものです。すべての人は、平穩で、自分の思いがかなうことを願います。でも、現実には人生において、自分の希望が叶わないこと、挫折や、どうしようもないことが起こる事があります。この詩編 119 : 71 では、「苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。」とあります。苦しみに会うことが幸せであるとは、普通は考えられません。苦しみは避けたいものです。

とはいえ、日本のことわざには、「若い時の苦勞は買ってせよ」という言葉もあります。一般的に、若い時に、世の中で色々な苦勞をすることで、成長して良い結果となる、とされていることは確かです。では詩編 119 篇のほうではどうでしょう。「苦しみのあったことは、私にとってしあわせでした」の続きが「私はそれであなたのおきてを学びました。」です。「神のおきて」を学んだことが、どうして幸せなのでしょう？この「おきて」という箇所は、KJV 欽定訳聖書では、制定法、法令、とあります。この言葉から、「神のおきて」とは、単なる口約束のものではない、文字に書きしるされた重要決まり事であることがわかります。旧約聖書ではモーセが、神様から石に刻まれた神の言葉「十戒」をいただいたことが記されています。出エジプト記 20 : 3 と 6 では

3 あなたは、わたしのほかに、ほかの神々があつてはならない。

6 わたしを愛し、わたしの命令を、守る者には、恵みを千代にまで施すからである。

とあります。聖書は神様の言われることが何であるか悟り、神のおきてを守ることによって、幸せになれるだと繰り返し記しています。

イエスはマタイ 22 : 37 ~ 39 で「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これが大切

な第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めもそれと同じように大切です。

と神の戒めを守るように言われています。

「神のおきて」神様の言われることが何であるか悟り、命じられていることを守ること、これが、幸せへの道なのです。苦しみを通じて人は悟るのです。自分の人生が自力で上手くいっていると思う時には、悟ることが難しいのです。

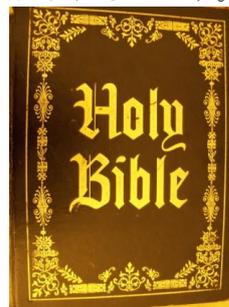
黙示録。3 : 19 では

わたしは愛する者をしかったり、懲らしめたりするとあります。神は人に困難を与え、苦しみを通して神のおきてを悟らせようとされます。人は苦しみを受けた時、神のおきてを学ぶのです。ただ、苦しみが起こる事のすべてが、神の懲らしめとはかぎりません。神の子である主イエスも、この世では苦しみを受けました。正しい行いをした信徒たちも、迫害や殉教という苦しみをうけています。彼らに苦難が起こったのは、神のしつけで起こったわけではないのです。神様のなさることは深淵であり、単純ではないのです。

マタイ 16 : 26

人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいのでしょうか。

とあります。神のおきてを学び、永遠のいのちを得ることこそが大切です。この世の成功や安泰が本当の幸せではなく、永遠のいのちを得ることが幸せなのです。そして神様は、私たち人間が本当に幸せになるように望んでおられるのです。



神のことば、聖書

聖書に関する有名人のこぼし：淵田美津雄

淵田美津雄ふちだみつお（旧帝国海軍のパイロットで真珠湾攻撃の総指揮官として有名、戦後にクリスチャン、キリスト教伝道師となる）



「私は熱心に聖書を読みました。私の人生観はキリストによって完全に変わられました。」

＜お知らせコーナー＞

●聖書贈呈プレゼント！

月刊バイブルお読みになっていかがでしたか？少し、聖書に興味をわいてきましたでしょうか？このたび、当教会では聖書贈呈、プレゼントを行っています。この機会に聖書をあなたも読んでみませんか？ご興味がありましたら、ぜひ、お申し込みください。

以下を記載の上、mail:truth216@nifty.comもしくはfax:020-4623-5255もしくはtel:042-364-2327へ連絡ください。

郵便番号:

住所:

名前:

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

見本

曜日/時間:毎週日曜日/午前 10:30-12:30,午後 14:00-16:00

場所:東京都、京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館 (tel:042-360-3311)

1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、「レムナントキリスト教会」の部屋を確認ください。

どなたでも来会歓迎、入場無料です。tel:042-364-2327, mail:truth216@nifty.com



★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、「Yahoo! Japan」で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。

尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>